

公民館報

No. 94

(2020 / 11 / 1)

くしもと

編集・発行：教育課

串本町串本2427番地

TEL 0735-62-0006 / FAX 0735-62-6023



## 表紙文化財紹介

熊野古道大辺路  
逢坂峠「大乘妙典塔」

町指定文化財 記念物（史跡）

平成21年3月30日指定

今月号の表紙は「熊野古道大辺路逢坂峠 大乘妙典塔です」です。

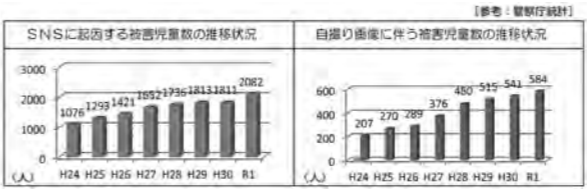
逢坂峠の頂上部には、大乘妙典塔が2基、墓石が1基建てられています。大乘妙典とは一般的に法華経（妙法蓮華経）のことを意味し、大乘妙典塔の下には法華経の文字の書かれた小石が収められています。熊野古道はこの石塔群沿いに通っていたと思われていますが、道路の造成にともなって既になくなっており、石塔群に行くには稲村崎の先端に向かう舗装路に架けられた稲村橋のたもとから入ることになります。

# わかやまネットトラブル相談窓口のご紹介

青少年のネットトラブルに関する相談に対応します！

近年、SNSに起因する犯罪被害児童は急増しており、ネット上でのさまざまなトラブルがあとを絶ちません。

和歌山県ではLINE公式アカウントを使った県内青少年のためのネットトラブル専用相談窓口を開設し、ネット上でのトラブル解決に向けた技術的なサポートをしています。青少年に関する問題であれば、ご家族からの相談にも対応いたします。当相談窓口は、LINEアプリを使用しているため、一般的な電話相



わかやまネットトラブル相談窓口  
@wna1938h  
自分のこと、友達のこと。言にくいネットでのトラブル、LINEで相談してみない？

LINE相談窓口  
そなた、相談してみよう！

アカウントをのっとられた！  
悪口をSNSや掲示板に書かれた…  
ネットで知り合った人に画像を送れと言われた！  
SNSで怖いめにあっちゃった…

LINE相談窓口  
そなた、相談してみよう！

わかやまネットトラブル相談窓口(LINE)

相談受付 月～金 (15:00～21:00) ※祝日、年末年始を除く

和歌山県青少年・男女共同参画課

# 令和2年度 串本町小・中学生ポップコンクール 受賞作品決定

町教育委員会、町子ども会連絡協議会主催による令和2年度串本町小学生ポップコンクールが開催され、8月3日から21日までの期間に応募のあった計286点の作品を審査し、各部門の最優秀賞1点、優秀賞6点が決定しました。入賞作品は図書館に展示していますのでぜひご覧ください。なお、審査結果については次のとおりです。

最優秀賞	潮岬小5年	廣瀬 一馬
6年優秀賞	西向小6年	雑賀 望
5年優秀賞	西向小6年	藪根 龍青
4年優秀賞	西向小5年	小堀 純之介
	西向小5年	西崎 夢人
	橋杭小4年	田村 愛心
	串本西小4年	大地 軍馬
【中学生の部】	応募総数199点	(1年69点、2年55点、3年75点)
最優秀賞	潮岬中1年	松原 琴音
優秀賞	串本中2年	藤野 遥
	潮岬中1年	岡地 叶穂
	潮岬中3年	赤松 璃音
	潮岬中3年	岡野 明音
	西向中3年	東 彩夏



中学生の部 最優秀賞

小学生の部 最優秀賞

# 第16回 串本町ゲートボール大会

9月30日(水)町総合運動公園ゲートボール場において第16回串本町ゲートボール大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大会参加前に検温、チェックシートによる問診を実施し、また、開会式、表彰式は省略するなど、感染対策を徹底したうえで開催されたこの大会には、6チーム31名の方が参加され、リーグ戦方式で競い合いました。



3位 和深Aチーム



準優勝 目津チーム



優勝 和深Bチーム

# 串本公民館俳句講座 十月作品

町俳句大会が中止となった代わりに、公民館本館俳句講座受講生の方々に季節の句を詠んでいただきましたので紹介します。

高野 榎抱へて墓参秋彼岸	峪 郁子
生き残り友一人なく秋に入る	笠島 美千代
手順よく今日一日の冬支度	木皮 慧子
藁を手に稲を束ねる小学生	峰山 藤枝
鯛雲東へ西にいろは坂	山本 夏美
秋蝶や今日の散歩の友となり	吉原 美恵子
青蜜柑白波立つる熊野灘	今井 悦子
敬老日おもひもかけぬ喜寿祝	中山 和代
灯を消せば厨の隅でちろり鳴く	木田 豊美
古き家開けつ放して秋の風	田中 かなる
林立の彼岸花咲き土手を染む	矢本 美子
花芙蓉鏡に写る美容院	横溝 和代
九十才の夜長の日記見てみまし	平間 弥生
明日は明日夜寒の床の独り言	岡田 三恵
子供園お休みタイム赤蜻蛉	和田 竹司
降る星の重きにより酔漢が	赤松 徳二

# イベントの中止について

次のイベントについては、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止することといたしました。何とぞご理解のほどよろしくお願いたします。

- 歩こう会
- ふれあいいきいきまつり
- 町子ども会クリスマス会
- 串本ナンタンクロスカントリー大会
- 串本ナンタンジュニアマラソン記録会
- サン・ナンタン串本ゲートボール大会
- 本州最南端串本グラウンド・ゴルフ交歓大会

### 田並の通り穴

左の写真は昭和63年7月発行の公民館報に掲載されていた写真です。「ふからく



田並(名近)「ふからくの通り穴」美しい環境が育んだ自然美。だが粗磨きどろり、いつかこの姿が残らぬだろう「高きマートル」。(由利アトム)

の通り穴」として紹介されている。この奇岩は、田並の民話「狼の恩返し」の舞台

なっている大岩です。普段人目に触れることの少ない場所にあるため、知らない方も多いかもしれません。奇岩の多い町内でも珍しい形をしたこの大岩ですが、写真から約30年経ち、通り穴上部が随分と細くなっているように見えます。記事にも書かれています。この姿が見られなくなる日はそう遠くないのかもしれない



現在の様子

### 狼の恩返し

百年余の昔、山本家に莊蔵という人がいた。大岩の磯へ夜釣りにいくのを常としていたが、ある夜、いつもの磯で例の通り夜釣りをしている

と、一匹の狼が口をあけて向かって来た。莊蔵は驚いたが逃げるのも無駄と悟ったので突っ立って見ると、狼は口をあけたまま寄り寄り寄って何かを訴える様子である。口の中を覗いてみると、大きな骨をつきさしている。莊蔵は手に手拭いをまきつけて狼の口の中突っ込み、その骨を抜き取ってやった。狼は嬉しそうに帰って行ったが、その後も度々彼が夜釣りする側に来ていたと云う。或る夜も例のように釣り糸をたれ

ていると見る見るうちに西の空が曇ってきた。と件の狼がどこからか馳せ来たり莊蔵の袖を噛みついてしきりに引張る。彼は怪しみながら引張られるがまま行くと、やがて岩窟の下に連れて行き、そこに臥せしめて狼はその上に伏しかばうようにする。やがて突如として台風が襲来した。

風が止んでみると、もと釣りしていた辺りの岩など幾つかに割れ崩れ、嵐の後の波が月に白く狂っていた。

串本町民話伝説集より

### 海門庵

次の民話は高富の民話です。

#### 東雨の地蔵様と地名

お大師様が此処迄来られ、土地名物の北東風雨に降りこめられて橋の下で雨をさけられた時に、あららぎの木で刻まれたのが今に残る地蔵様です。昔から安産の地蔵として妊婦の人々が必ずと言ってよい程御参りし、其の御利益を頂いたものです。東雨にあわれたというのが地名になって「東雨」即ち「あずまあめ」があずまめと転じて「あずまめ」になっています。

串本町民話伝説集より

この弘法大師が製作したと伝わる子安地蔵は、高富の海門庵に本尊として安置されています。この庵は、

現在無量寺のある無量寺の創建庵であるといわれ、元々は高富東雨地区の地蔵谷と呼ばれる谷を奥に入った場



旧海門庵

所にありました。小さな庵でした。堅固な石積み、木が囲いとタブノキの巨木が迎えてくれる小さな庵でした。昔は東雨地区に多くの人が集まり住んでいて、その他の地には人は住んでいなかったといわれています。

海門庵は、代々高富区民によって毎月24日を命日として世話されてきました。山奥にあることや区民の高齢化、建物の老朽化などが相まって改築保存が古くから懇願されてきました。その願いが叶い、海門庵は同じ高富地区にある光明寺の一角に移転することが決定し、令和元年12月から、子安地蔵は新しくなった海門庵に祀られています。

#### 「海門庵改築保存に関する趣意書」

昭和48年にも区民財の努力によって浄財を募り庫裏が再建されたようである。



移転した海門庵

子安地蔵は建物内に安置されている。脇の地蔵も同じく海門庵から移設された。

### 図書館からお知らせ

図書館は、串本小学校近くの建物から町地域保健福祉センター内へ移転し、10月1日から業務を再開しています。皆様ぜひご利用ください。

#### 【開館時間】

午前9時から午後5時15分まで

#### 【休館日】

毎週月曜日・祝日・年末年始  
整理日(毎月末、その日が月曜の場合は翌日)

#### 【お問合せ先】

☎ 0735-62-4653



センター入口近くに受付窓口があります。受付横のパソコンで蔵書検索が行えます。

1階ロビーは児童書コーナーです。昼の間でゆっくりと本をお楽しみください。

受付奥の部屋に一般図書・郷土資料コーナーを配置しています。

毎年、文化の日を中心とした2週間は読書週間です。図書館はリニューアル記念に約170冊の本を新規購入しました。この機会に、暮らしのなかに本と触れあう時間を取り入れてみませんか？

「大人のためのおはなし会」  
図書館で11月7日(土) 10時30分から開催します。  
読書の秋、ゆったりとおはなしやよみきかせを楽しんでみませんか？活字で読むのとは、また違った物語の世界があらわれてくるかもしれません。事前の申込は不要です。どうぞお気軽にご参加ください。

ラストページまで  
駆け抜けて

2020 第74回 読書週間  
10月27日～11月9日

イラスト=ながいけおのり 標語=野呂圭由紀  
公益社団法人 読書推進運動協議会

### 新着図書の紹介

#### 【一般図書】

※湯けむり食事処 ヒソップ亭 秋川 滝美

※濱地健三郎の幽たる事件簿 有栖川 有栖

※女は爪で美人になる 嶋田 美津恵

※50代からの人間関係 水島 広子

※感染症専門医が普段やっている 佐藤 昭裕

※感染症自衛マニュアル 佐藤 昭裕

※50代からの人間関係 水島 広子

※女は爪で美人になる 嶋田 美津恵

※50代からの人間関係 水島 広子

※感染症専門医が普段やっている 佐藤 昭裕

※感染症自衛マニュアル 佐藤 昭裕

※50代からの人間関係 水島 広子

※女は爪で美人になる 嶋田 美津恵

※50代からの人間関係 水島 広子

※感染症専門医が普段やっている 佐藤 昭裕

※感染症自衛マニュアル 佐藤 昭裕

※50代からの人間関係 水島 広子

※女は爪で美人になる 嶋田 美津恵

※50代からの人間関係 水島 広子

※感染症専門医が普段やっている 佐藤 昭裕

※感染症自衛マニュアル 佐藤 昭裕

※50代からの人間関係 水島 広子

※女は爪で美人になる 嶋田 美津恵

※50代からの人間関係 水島 広子

※感染症専門医が普段やっている 佐藤 昭裕

※感染症自衛マニュアル 佐藤 昭裕

※50代からの人間関係 水島 広子

# 公民館本館講座

文化の秋、スポーツの秋、芸術の秋などいろいろと言われていますが、秋は学びの季節です。

公民館では、町民の皆様の生きがいや学んだことを地域に活かせる生涯学習活動に取り組んでいます。本館では、9月から10月にかけて陶芸教室、エコクラフト教室、手芸教室の3つの講座を、新型コロナウイルス感染症対策のため定員を少なくして開講しました。エコクラフト教室、手芸教室は本館では初めての講座だったため、多くの方から受講の希望がありました。

緊急事態宣言が解除されてから約5ヶ月が経ち、文化センターを利用して活動再開しつつあります。まだまだ警戒を続ける必要がありますが、少しずつ可能な範囲で公民館活動の場を広げていきたいと思っています。

## 陶芸教室



陶芸教室は、毎年受講希望者が多い教室なので、一度の受講者が多くならないように二つの日程にわけて開講しました。

講師は竹田秀代先生で、お椀やお皿、小物など皆思い思いの作品を制作していました。

なお、完成した作品は11月開催の町民総合展に出展する予定です。

## 手芸教室



手芸教室は、講師の東加代子先生に、和布等を使った小物・かばん・人形等の作り方を教わっています。1月までいろいろな物の制作に挑戦していきます。



## エコクラフト教室

エコクラフト教室では、講師の前田厚子先生に教わりながら、全3回の講座でエコクラフトバッグを完成させました。



# 11月は「子供・若者育成支援強調月間」です

子供・若者は、親族の家族にとっても、社会にとっても、大きな可能性を秘めたかけがえのない存在です。しかし、ひきこもり、不登校、少年非行、いじめ、児童虐待、児童ポルノや児童売春など社会全体で取り組まなければならない問題が多数あります。これらの問題の解決には、行政や各種団体が連携協力するとともに、地域全体で支えていく社会を築くことが重要です。

11月は「子供・若者育成支援強調月間」としてさまざまな行事や広報活動などが行われます。この機会に、子供・若者の育成支援について、一人一人が自らの問題として、家庭や学校はもちろん職場や地域社会などでも考えてみませんか？



## 灯台

### 健康太極拳

「太極拳をしてみませんか」

友人に誘われ、興味本位で教室を見学したのが今から7年前の事です。子供達が大学生となり、それぞれが地方での生活を始めて、子育てもひと段落した時でした。

太極拳は、中国武術の一派。東洋哲学の重要概念である太極思想を取り入れた拳法です。

アメリカやヨーロッパ、そして日本でもますます愛好者が増えているのは、総合的な心身修養法としての魅力が大きいからだといわれています。

串本町武道館には幅広い年齢、職業の生徒が集まります。

中国の伝統的な擦弦楽器の一種である「二胡」の美しい音楽が流れる中で「八段錦」「24式太極拳」と鍛錬が進んでいくのですが、呼吸と動作を意識的に行う事に慣れるのには時間を要しました。

休憩時間には先生が、中国語で書かれた掲示物から、人生の教訓を説明して下さいます。

例えば「謙虚は人を進歩させ、傲慢は人を落伍させる」

中国の長い歴史の中で、多くの人



生体験を通して生まれた実践哲学のひとつです。人としてどうあるべきか、学びの時間でもあります。

教室の仲間と鍛錬を重ね「初傳、中傳、奥傳」と試験に合格し御免状を頂きました。

年に数回、紀南地域の教室の方々との交流があります。

本州最南端、潮岬望楼の広大な芝生からは、青い海と水平線、前方に往来する貨物船が見えます。さわやかな潮風を浴びながら演舞するのも楽しい事です。

地元の新聞社、ローカル放送局(ZTV)、NHK放送局が撮影に来られました。

幅広い年代の生徒さんとお話したり、健康を柱に心と体を健やかに保つ時間が、私にとっては至福の時です。

### 千代紙のお人形

現在、主人の仕事で串本町に住んでいます。今から20年以上前のお話です。もう既に亡くなっている主人の祖母の妹さん(ここでは『おば様』と称します)は、田辺市中屋敷町で生活をされていました。

御近所には南方熊楠という菌類学者の邸宅があり、幼い頃は熊楠氏の娘さんとずっと遊んでいたそうです。おば様が体調不良となり、治療を受ける為に、私達がお世話する事になりました。

白内障で手術をし、視力低下もあり、テレビも新聞も制限された生活でしたので、ラジオを聴く事が唯一の娯楽だったのです。おば様の傍で周波数と音量を調節して枕元に置くのが私の日課となりました。

現在は高速道路が出来ていますが、当時は田辺から串本までの道は幾つもの岬をめぐりました。余り外出する事がなかったおば様は、一時間程の道のりをことの外喜び、童女に返られていた様でした。

おば様が生前、まだ幼かった娘の為に、見えにくい目をこらして千代紙でお人形を幾つも作って下さいました。

おば様のお心づくしの数々、私にとっては大切な物です。

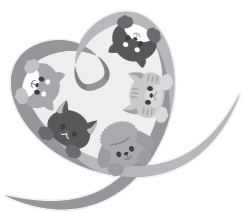
### ラッキーちゃんの青いリード

我が犬と散歩していた途中、近所のガレージで、雑種犬のラッキーちゃんが日向ぼっこをしていました。ラッキーちゃんは推定15歳位です。山の中をさまよっていたところをご主人が保護して大切に育てておられます。ただ現在は下半身が麻痺し、介護生活となり、一日中ご夫婦でお世話をされています。

「このリード、もう使うことがないから、もらって」と真新しい青いリードを頂きました。

絵本「のら犬 ボン」田島征彦著(2017年くもん出版)では、動物愛護の考え方や飼い方についての啓発を改めて考えるきっかけとなります。動物と正しく付き合いたい、責任を持つて大切に育てて欲しいと思います。

ラッキーちゃんの青いリードは大切にします。少しでも長生きしてくださいね。本当にありがとうございます。



阪本 良子

# 串本町民総合展

11月6日(金)～8日(日)  
午前9時～午後4時30分

## ●串本町立体育館

生花、工芸、俳画、俳句、  
手芸、書、  
各公民館出展コーナーほか

## ●串本町文化センター

写真、絵画

## ○特別展示「太平洋戦争の記録展」

主催 串本町・串本町教育委員会

教育課よりお知らせ

## 「串本町の戦争遺跡」冊子を配布しています

町内には、まだいくつかの戦争時の軍事施設跡や地下壕などが残されています。

町教育委員会では、これらの施設跡や空襲被害地を「戦争遺跡」として保存し、戦争の怖さ・愚かさを語り継ぐ史料とするために、平成23年度から戦争遺跡に標柱を設置してきました。

この度、町内戦争遺跡についての情報をまとめた冊子を作成いたしました。この冊子では、標柱設置場所16ヶ所を地図や写真で解説するほか、町内の戦没者数や空襲被害史等の情報をまとめています。

希望される方には町文化センターにて配布しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

編集 串本町戦跡標柱設置検討委員会

第五福竜丸建造の地平和の歴史展実行委員会

発行 串本町教育委員会

お問合せ先 串本町教育委員会社会教育グループ

串本町串本2427番地 串本町文化センター内

TEL：0735-62-0006